

昭和五十二年二月一日、砂川希望学院に就職をして三十七年が経ちました。当時は歌志内線で通勤し、勤務初日は開院記念日で体育館にてバレー・ボール大会でした。プレーしている職員が大変上手で内心驚いた事を覚えております。

男子部十二年間、女子部に二十五年間と勤務し、その間の様々な出来事や場面が走馬灯の様に思い出されます。長いようで短くも思える時の流れでした。その沢山の思い出はこの紙面では書き尽くせませんので割愛致します。

さてこの度、副施設長として新たな役割を与えて頂きました。昨年学院が開院して以来四十周年の記念の年でした。開設当時から学院で生活している利用者の皆さんも四十歳、年を取つたのです、四十年間働いてきたのです。

今後の人生を安心してゆつたりと楽しく送つて頂ける様、砂川地区では憩いの空間の整備が必要になつてきます。今迄は行事等、町のレストランを利用し

していましたが、利用者の皆さんも高齢化、重度化して、町での利用が困難になつてきている方が増えています。

この様な現状を踏まえて、年々運営が厳しくなつてきていたるふれあいの店の見直しを図り、従来の喫茶コーナーをレスタンに変えて、高齢化や重度化した利用者の皆さんのが安心してゆつたりと楽しめる憩いの場にしたいと思つています。販売コーヒーもさらに充実させ、土曜日の夕方から夜にかけて居酒屋さんに変貌し、お酒やソフトドリンク、カラオケなども出来て大いに楽しめる空間にでければと考えています。（仮称才アシス構想）

長年学院で生活をして働いてきた利用者の皆さんに感謝の気持ちをもつて、これから学院生活が少しでも充実した日々となります様、堀川施設長を中心にお職員が一丸となり努力してまいりたいと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

新たな道を歩む

副施設長 高喬 將

事業所	砂川希望学院							ワーク望			デイサポート夢		デイサポート優	
サービス管理者	武田(和)・久保・永井・西川							西岡			東海林(環)		相馬(一)	
主任	平塚(課長)・坂本・大塚(憲)・大橋・関口										加納		水原	
	岩村(就責)・長内(生責)							谷(就責)						
支援員	松井	後藤(克)	太田(和)	渡辺(進)	岡島	小林(茜)	門谷	長谷川(秀)			松	本岡	小佐	閑伯
	早坂	本田	谷山	橋場(綾)	高橋(希)	村上(広)	下山(久)	橋場(猛)	堤	松	平澤	堀	堀	堀
	福島	上小路	大谷	岡田	神	小野寺	佐々木(香)	上杉	上杉	平	和田	浅	浅	野
	川岸	菊池(み)			小林(近)			下山(則)	下山	相馬	(貴、産休)	原	原(産育休)	原
サービス内容	生活介護					就労継続B		就労継続B			生活介護		生活介護	就労継続B
	【男性】	【男性】	【男性】	【女性】	【女性】	【男性】	【女性】	【男性】	【男性】	【女性】	【男性】	【女性】	【男性】	【女性】
利用者	井口	鈴木(勲)	源	新井	堀川(和)	<共同>	石川(見)	<通>	池田(幸)	<共同>	松中	中田(ま)	二本柳	濱田(雅)
	池田(克)	鈴木(融)	森山	石川(佐)	前田	木下(順)	遠藤	小野	熊谷(静)	中田(ま)	山口(葉)	村田(春)	中保	<共同>
	石川(昌)	外崎	矢嶋	伊藤(和)	楨口	榎木	大川	佐藤(道)	鈴木(彩)	土佐	佐藤(道)	中保	村田(春)	中保
	石川(信)	高木	山下	江田	増田(美)	富岡(仁)	田中(礼)	川端	志釜	福地	宮本(貴)	太田(大)	池田(淳)	<共同>
	泉高橋(智)	湯浅	大政	本瀬	成田(洋)	熊谷(和)	中塚(弘)	熊谷(和)	中塚(弘)	太田(大)	久壁	太田(大)	池田(淳)	太田(大)
	一ノ瀬	高橋(芳)	若竹	村	渡辺(智)	渡辺(智)	井上(真)	熊谷(利)	志釜	太田(大)	日山	大西(和)	池田(絵)	大西(和)
	上田	武田(人)	渡辺(真)	武田(人)	金森	山本(は)	井上(幸)	小林(省)	中塚(弘)	大西(和)	堀川(友)	菊池(和)	石村	菊池(和)
	越前谷	谷口	伊藤(旭)	伊藤(旭)	菊	結城	井上(幸)	笛島	小林(省)	大西(和)	田邊	小林(弘)	一村	小林(弘)
	大石(國)	玉井	高松	木	沢	狩野	原田(静)	佐藤(保)	三崎	大西(惠)	大西(惠)	曾我部	大西(惠)	曾我部
	大石(義)	千葉	高	木	戸	野	原田(静)	伊達	村上(秀)	中塚(晴)	中塚(晴)	伊達	竹内	伊達
	大塚(純)	千葉	徳野	木	窪	藤林(美)		原	原	成田(年)	三谷	元木沢(里)	四十九院	元木沢(里)
	大野	戸田	<共同>	阿部	幸谷	<共同>	山田	<通>	谷川	三谷	森	佐藤(久)	佐藤(久)	佐藤(久)
	岡崎	富田	大野	石田(弘)	後藤(都)	山田	竹形	幸	幸	森	崎	山本(愛)	<共同>	山本(愛)
	柏崎	中田(裕)	今村	今村	桜田	<通>	尾西	原	原	崎	山	宮本(潤)	佐藤(愛)	佐藤(愛)
	加藤(久)	中田(幸)	高坂	根市	佐藤(松)	庄司	前川	中	川	山	山	山本(優)	尾口(恵)	尾口(恵)
	加藤(義)	成田(隆)	野原	鈴木(紀)	鈴木(紀)	脇川	東海林(雅)	中	宅	川	川	野田	安達	安達
	川俣	原口	堀合	谷	脇川	脇川	川尾	西	宅	尾	尾			
	木下(秀)	原口	<通>	元木沢(和)	中	中	黒瀬	西	根	黒瀬				
	清澤	原口	白田		西	西		根	村					
	越湖	小西			西	西		村						
	小林(一)	小西			長谷川(綾)									
	児山	小西			濱田(眞)									
	佐藤(勝)	小西			藤田									
	島田	小西			皆									
	67							39	7	9				
									27	6	14	10	5	12

1) 第168号

きぼうだより

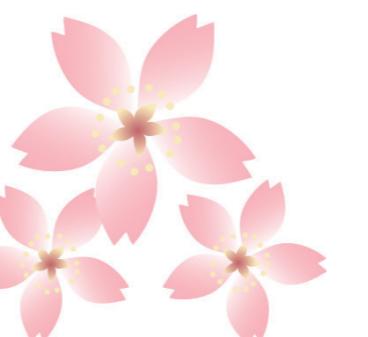
慌ただしく過ぎた
四十一年間

昨年二月に、砂川希望学院の開設四十周年を迎へ、「ありがとう希望の四十年」の原稿を書かせてもらつてから、あつという間に一年が過ぎていきました。

私が札幌から砂川に赴任して丸八年が経過しました。本当に「光陰矢の如し」の感がありまです。そしてこの数年間いろいろな事がありましたが、皆で何をしてきたのかを振り返つてみると、とり立てて上げるほどの事もなく、只、現実への対応に忙しく追われ、しなければならな

い事をしてきただけのように感じられるでしょう。

「皆の望み」
障害者福祉は、障害年金始め
国民の税金で利用者の消費の権利が守られています。福祉に関する職員は利用者の消費の権利が、いかに有意義に果たされるかを考える発想が求められます。希望学院のこれまでの生産活動の視点に、人生の質向上のための非生産活動、消費活動への



んできましたが、利用者が楽しく毎日の生活の質を高める為のハード面・ソフト面のサービス提供に関する具体的な構想については、どうしても後回しになります。

福祉の世界は非生産的で消費の世界ですが、砂川希望学院は、開設当時から農耕作業中心の生産活動に、利用者全員が参加してきました。しかし利用者の半数近くが高齢者になつた今、今後の日中活動の在り方の見直しが必要になつてきていました。恵まれた自然環境を生かして楽しい活動について、今後数年計画で、具体的構想を考えなければなりません。特に高齢入所利用の方の「人生の質」について、夢を追求する計画を持ちたいのです。

視点を持った発想が求められました。新しく砂川地区事業所の副施設長に就任した高橋将氏も私も、現場で四十年近く働いてきました。

介護や支援の現場で、毎日目の前に起こる様々な出来事に忙しく対応する職員の姿を見てきました。施設の利用者が楽しく暮らす為には、そこで働く職員が、もう少し余裕を持つて楽しく暮らす発想を持つ事が必須条件です。職員が存在感と満足感を持ち、暮らしていかなければ障害者の幸せを考える余裕は生まれません。職員が夢を描きながら働ける職場造りは、高橋氏にも私にも共通した想いです。

今後施設で暮らす皆の願いを叶えるための長期計画を検討し

